

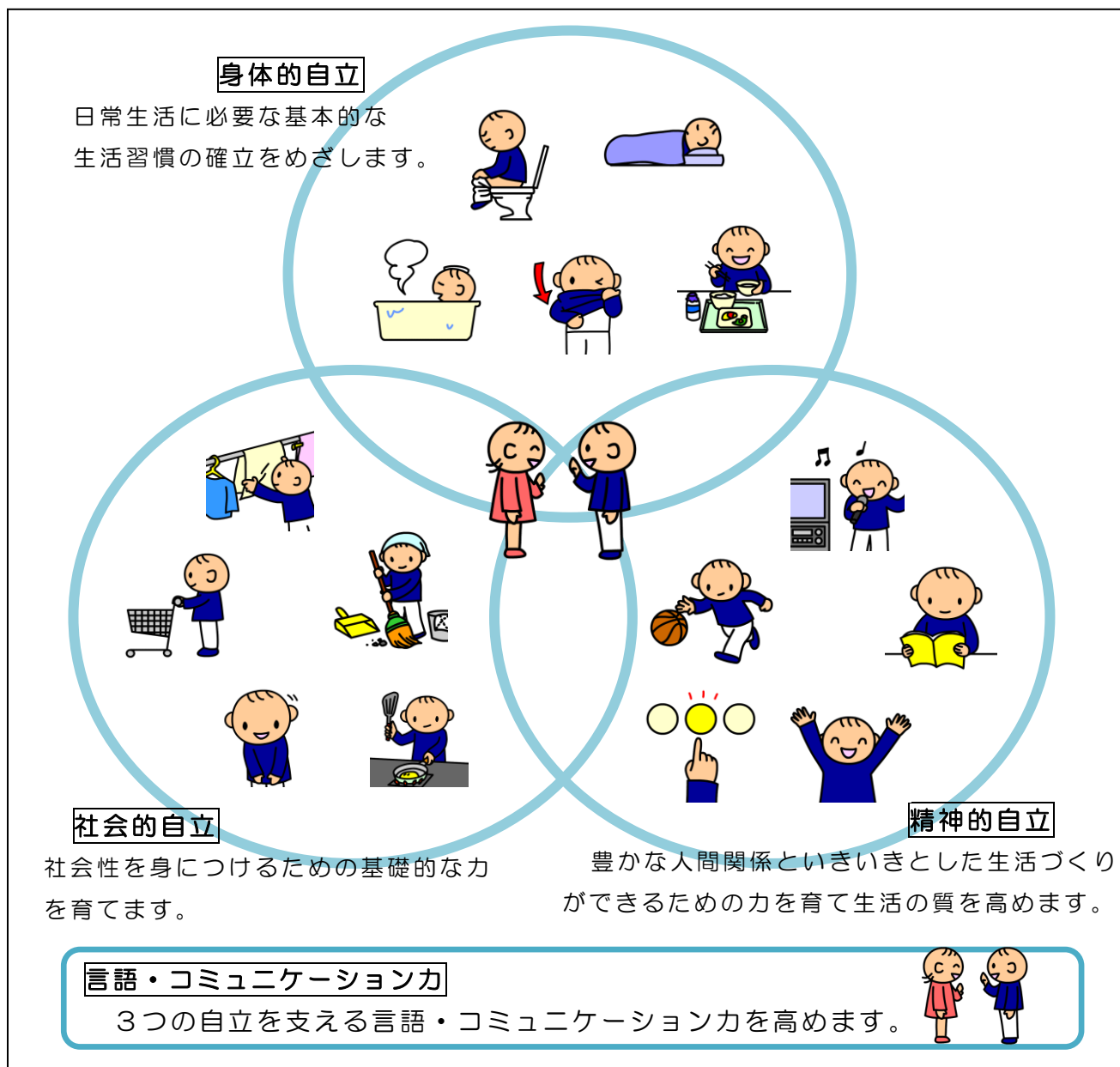
## < 寄宿舍の紹介 >

寄宿舍では、生活教育の重要な実践の場と考え、学部・保護者との連携を大切にし、心身の自立を目指すとともに意欲的な生活を営む力が身につくように指導・支援しております。

指導・支援にあたっては、お子さん一人ひとりの特性及び障がいの状態に即しながら、健康で安全な生活が送れることを大切にしています。

### < 教育的ニーズに応じた寄宿舍生活 >

児童・生徒一人ひとりの教育的ニーズに応えるために『3つの自立』およびコミュニケーションの力の育成を目標に据え、寄宿舍という生活空間ならではの教育を考えています。



①身体的自立…日常生活に必要な基本的な生活習慣の確立をめざします。

- 生活の基本動作（食事 睡眠 排泄）  
「しっかり食べて ぐっすり眠って ちゃんと出す」生活をつくります。
- 身の回りの動作（衣服の着脱 清潔習慣）  
「人に不快感を与えない身だしなみ」を身につけます。

生活のリズムを整え、生きていくために必要な生活技能が身につく生活があります。

②社会的自立…社会性を身につけるための基礎的な力を育てます。

- 日常生活を自立して送るためのより幅広い生活活動を身につけます。  
整理整頓 そうじ 外出 買い物 金銭管理  
時間管理 情報管理 ルールとマナー など

経験の積み重ねから「できた！」が実感できる生活があります。

③精神的自立…豊かな人間関係といきいきとした生活づくりができるための力を育て、生活の質を高めます。

- 興味・関心を広げ、やってみたいことを選び（自己選択）、自分で決めること（自己決定）ができる力を育てます。
- 自己選択、自己決定の中から「充実感・満足感・成就感」が得られ、生きる意欲、働く意欲につながります。

やってみたいこと、一緒に活動して、遊んでみたい友だち、気持ちを豊かにする生活があります。

④言語・コミュニケーション力…3つの自立を支える言語・コミュニケーション力を高めます。

- 言語・コミュニケーション力は生活の基礎・基本であり、よりよい人間関係を築くために欠かすことができないものです。3つの自立を支える土台となるものと捉え、生活の中で育てます。

仲間の中でコミュニケーション力が高まる生活があります。

寄宿舍は集団生活の中で身辺面の自立をはじめ社会性を養い、余暇も充実する場です。諏訪養護学校に入ったら一度は経験していただきたい生活教育の場だと考えています。寄宿舍に入ることは家族や地域から離れて生活をするということになります。集団生活のために一人になれる空間がないといった、家庭とは違った生活にもなります。だからこそ、家庭や教室との連携を大事にしながら、『寄宿舍 個別の指導計画』を作成し教育課題に沿って、一人ひとりに適した生活を考えています。そして、ぜひ寄宿舍で学んだことをご家庭でも生かさせていただいたらと願っています。この点にもご理解をいただき、寄宿舍の利用を考えていただければと思います。

## 〈1日の生活〉

時間	主な活動	活動の内容
6:30~	起床 身支度 洗面  そうじ	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人ひとりのペースに合わせて起床します。</li> <li>寝具の片づけ、着替え、洗面、排泄などをすませます。</li> <li>自分の分担場所のそうじをします。</li> </ul>
7:30~	朝食準備 朝食 あと片づけ	<ul style="list-style-type: none"> <li>食堂に行き、みんなで配膳をします。</li> <li>食べたところのそうじ、台ふき、整頓をします。</li> </ul>
8:15~  8:40~9:00	登校準備  登校  ◎気持ち良く起きて登校時間を守る朝の生活を心掛けています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>歯磨き、排泄等をすませて登校の準備をします。</li> </ul>
学校での授業・活動		
15:00	下校 おやつ 自由時間  入浴	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループごとおやつを食べながらゆっくりします。</li> <li>個別・グループ・全体での活動、興味関心別のメンバーでの活動などがあります。</li> <li>夕食の前後で、交代で入浴します。</li> </ul>
17:45	夕食準備 夕食 あと片づけ	<ul style="list-style-type: none"> <li>食堂に行きみんなで準備をします。</li> <li>食べたところのそうじ、台ふき、整頓をします。</li> </ul>
18:45	入浴 風呂そうじ 自由時間・自治会 活動 就寝準備	<ul style="list-style-type: none"> <li>部屋ごと交代でそうじをします。</li> <li>ゆっくり自分の時間を過ごします。</li> </ul>
21:00~ 22:00	就寝  ◎充実した放課後と明日への活力を作り出す生活を心掛けています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人ひとりのペースに合わせて就寝します。</li> </ul>

○寄宿舎の日課は、学校から帰ってきたあとホッとできる時間と、充実した放課後を送ることで明日への活力を育てる場であることを大事に考えています。

○一人ひとりの実態に寄り添って活動時間に幅を持たせています。





## < 寄宿舍 Q&A >

**Q 1 小学部生です。食事の偏食がひどく食べられるものが少しいですが、寄宿舍を利用できますか？**

A： 大きくなってからはなかなか直せない、また、家庭だけではむずかしい課題であると思います。早い時期に改善に向けた取り組みが必要なケースもありますので、学級担任に相談してください。小学部生が寄宿舍を利用する場合、親元を離れて生活することの負担や家庭や地域での生活も考慮しながら慎重に考えています。

**Q 2：家ではゲームばかり…寄宿舍ではどんなことをして過ごしていますか？**

A： 友だちと外に出て思いっきり体を動かして遊んだり図書館や買い物へ行ったりしています。夜はゆっくり本を読んだりテレビを観たり、時にはトランプやウノなど…好きなことを気の合う仲間として過ごしています。余暇活動として全体でのレクリエーションも楽しみの一つです。一人ひとりが自分にあった余暇を見つけ仲間とともに過ごす中でルールを学び協調性が育っています。

**Q 3：高等部のわが子は電車に乗って通学できますが、寄宿舍を利用できますか？**

A： 寄宿舍を利用することは可能です。寄宿舍では自立に向けての生活体験や異年齢の仲間との生活から学ぶことも多くあります。友だちづくりや趣味・興味関心の拡がりなど卒業後の生活に役立つこともあるので、たとえ通学ができて、在学中に一度は寄宿舍生活を体験する機会を持ってほしいと思います。

## < 寄宿舍の利用にあたって >

### 1 寄宿舍参観（保護者同伴日帰り寄宿舍体験）

寄宿舍での生活や活動を実際に体験することを通して、児童生徒と保護者の方に寄宿舍の生活を知っていただくために行っています。時間は「夕食前まで」「夕食後まで」の2パターンあります。「寄宿舍ってどんなところ？ どんな生活をしているの？」などと、興味をもった時に気軽に来てください。

### 2 保護者同伴寄宿舍体験

今後、寄宿舍入舎を希望する児童生徒が対象です。初めて寄宿舍に泊まる時は保護者と一緒に宿泊し、寄宿舍の実際の様子を知っていただく機会としています。

### 3 小・中学部生寄宿舍体験

小中学部生が対象です。保護者同伴寄宿舍体験を行った児童生徒が、舎生数が少ない高等部実習中に一人で体験します。寄宿舍の空間や日課になれることができます。

### 4 次年度希望者寄宿舍体験

次年度に入舎を希望する児童生徒は全員対象となります。実際の寄宿舍生活をイメージしながら一人で宿泊します。保護者同伴寄宿舍体験を終えた後に行うことになっています。

○最適な時期に最良の期間の寄宿舍利用につながるよう、よろしくお願いします。

諏訪養護学校

舎務主任 中條真一

寄宿舍部長 内田 宏

電話 0266(62)5600

(学校と共通です)

